



2021年10月28日

各位

会社名 株式会社ファインシンター
代表者名 代表取締役社長執行役員 井上 洋一
(コード番号 5994)
問合せ先 取締役常務執行役員経理部長 小林 努
(TEL 0568-88-4355)

第2四半期連結累計期間における業績予想値と実績値との差異
ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年4月27日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2022年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異

(1) 2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異

(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	18,000	700	550	250	56円81銭
実績値(B)	19,120	255	424	248	56円41銭
増減額(B-A)	1,120	△444	△125	△1	—
増減率(%)	6.2	△63.5	△22.9	△0.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	14,621	△1,335	△1,385	△1,178	△267円84銭

(2) 差異の理由

売上高は、油圧機器製品事業における、海上輸送遅延を背景とした得意先の資材先行調達等による受注増加に加え、想定為替レートを上回る円安となったため、会計上の換算差による売上増があり、前回発表予想を上回りました。

一方、利益面については、半導体不足及び東南アジアからの部品供給停滞に伴う得意先での生産調整、原材料価格の高騰、米国子会社で要員不足に伴う生産上のロス等が発生し、減益となりました。なお、米国子会社では、政府から受けていたコロナウイルス関連の支援策である融資について、債務免除の通知を受けたため、これを営業外収益に計上しております。

2. 2022年3月期の通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	37,000	1,500	1,200	700	159円06銭
今回発表予想(B)	38,000	800	800	350	79円53銭
増減額(B-A)	1,000	△700	△400	△350	—
増減率(%)	2.7	△46.7	△33.3	△50.0	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	34,641	211	131	△225	△51円14銭

(2) 通期連結業績予想修正の理由

売上高は、油圧機器製品事業における受注増加等の上期実績を通期業績予想に織り込んだ結果、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

利益面については、上期実績に加え、足元の自動車減産、米国子会社の要員不足、鉄粉を中心とする原材料価格の高騰を考慮した結果、前回発表予想を下回ることが見込まれるため、下方修正いたしました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上